

靴や持ち物が涙なしで見れなかったです。自分にも子どもと親がいるので、生きているから一生懸命生きようと思えました。(40歳代 女性)

もっと色々な所でみんなに知ってもらいたいと思った。(10歳代 女性)

自分より若い子たちがこんなにも命を落としていることがショックだった。少しでも事故が減ってほしい。(10歳代 女性)

事故や事件は誰にでもおこり得ることと思います。他人事と思えないと思います。(50歳代 女性)

自分が生まれていないときに今の自分よりも若い命がたくさん奪われていることを知り、胸がつまりました。事故の加害者は1~2年程度で刑が終わってしまうというのが警察側も命を軽視しているようで悲しいです。自分の命も他人の命も同等の価値があります。自分を大切に、また他人を大切にしてほしいです。(10歳代 女性)

こんなにも理不尽な理由で殺されてしまった人がいることを初めて知りました。自分の命を大切にしてその有難さを噛みしめながら生きなければならないと思いました。ありがとうございました。(20歳代 女性)

暴力などで亡くなってしまった人までいるということがとても印象的でニュースでなんとなくしか知らなかったので、今回この展示をみて細かい状況などを知ることができた。1人1人大切な未来があると実感した。(10歳代 女性)

子どもさんが亡くなった方のメッセージは悲しすぎて読めませんでした。(30歳代 女性)

自分がいつ被害者・加害者になるかわからない。そうならないように注意しなければいけないと心に留めると同時に、世の中の全ての人が、そのことに気付いてほしいなと思います。(20歳代 男性)

人の命はとても儚い物であると痛感しました。自分も事故に遭わない、事故を起こさないようにしたいです。(20歳代 男性)

もう少したくさんのメッセージにお会いしたかったです。たくさんの方に理不尽な事件で大切な家族の命が奪われたのか、又、更に理不尽な判決で遺族が苦しんでいるのか… 苦しみの中でこの様に大切な家族と共に前に進んでいる、進もうと努力されている姿に私も頑張らなければと元気をもらっています。いつもありがとうございます。(40歳代 女性)

自分の子ども達が幼いうちは被害にあわないように気をつけていれば良かったのですが、成長し、運転免許を取るようになり、いつ事故を起こしてしまうか分からない不安があります。今回パネル展示を見て改めて、自分を含め、子ども達にも加害者にならないように気をつけなければいけないと思いました。(40歳代 女性)

犯罪被害者の悲痛な想いが伝わってきた。今回のこの展示で初めて犯罪被害者支援について知れた。もっと勉強したいと思った。(20歳代 男性)

交通事故は良く耳にするが、被害者方の声をきいて、心が苦しくなった。人の命を大事にしたいと再認識させられた。(20歳代 男性)

大切な命、奪われる悲しみ、本当に辛いです。(40歳代 女性)

ひどい事故があるのは知っているが、詳しく内容を知ることはないので、関心深かった。これからの被害者を少なくするために、この活動は素晴らしいと思った。(20歳代 男性)

今日のニュースで、パイロットの飲酒報告がありました。「アルコール検査」の精度に問題があるようですね。「飲んだら、乗るな！」残念です。

【飲酒運転している事故】→多くの方々が、犠牲になられていることをあらためて、知りました。

メッセージにいた3人の親友の方々のいのち、天国で続いています。(60歳代 男性)

被害者のパネルの文字を見るだけで辛くなる。(20歳代 女性)

私が地裁である時傍聴した裁判は、飲酒運転による交通事故の裁判でした。亡くなった方は、私より少し年下の、若い男性だったので、身近な問題として聴く事となりました。一度死んでしまったら、死者は戻ってこれない。当たり前の事だけど、忘れてる人が多いように思われます。(20歳代 男性)

ご遺族の方は、一生心から笑われることがないと思います。せめてもの償いに、このような悲しいできごとが二度と起こらないように、自分のまわりの人たちに対して、気をつけていきたいと思います。改めて、あってはならないようなことで生命(いのち)を落とされた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。このようなイベントを身近な所で2度も開催して下さいみなさまにお礼申し上げます。ありがとうございました。(50歳代)

命について感じるものがありました。日常、様々なことがあります。今ある命と周りの支えてくれる人に感謝して生きようと思えました。(30歳代 男性)

自分にも3才と0才の子どもがいるため、親としての立場で1人1人の状況を拝見させていただきました。今ある命に感謝を忘れず、犯罪被害者支援がもっと周知されてほしいです。(30歳代 女性)

理不尽に命を落とす無念さ、残された家族の無念さ 伝わりました。奇跡の命、大切に生きて行きます。(40歳代 女性)

ニュースでは〇〇名死亡でかたづけられている話も、それぞれ個人の背景を知ること、事件や事故のむごさがわかった。理不尽に殺されてしまった方々は、何も悪くないのに、同じようなことが繰り返されて、泣き寝入りしている現実を知り、自分自身が加害者にならないようルールを守り、意識をすることはもちろん、苦しんでいる人たちにできることがあれば、行いたいと思った。今回「知る」ことができたことは大きいと思うので、色々なところで、このような活動が広がってほしいなと思った。(20歳代 女性)

初めて来させていただきました。理不尽に奪われた親、子どもの命。ご遺族の怒りや悲しみ、後悔、文章から伝わって来ました。ありがとうございました。(30歳代 女性)

小さい子どもから高齢者まで日常に起こった一瞬の出来事で亡くなってしまふんだなと感じた。命に代われるほどの支援はできないが被害者遺族が前向きに生きていけるくらいの支援は必須だと思う。小さな不注意から起こる大きな悲しみがなくなってほしい。(10歳代 男性)

普通に生きている日常が、一瞬にして奪われてしまう、被害者ご本人、そして残されたご家族の皆様のお気持ちは私には測り知れないものだと思います。自分の子どもや家族がそうになったらと考え、恐ろしくなってしまいます。何げなく生きている日常が本当に幸せなことであると、生きているのではなく生かされているのだと思い改めたい気持ちです。交通事故による被害が多くありました。便利なものは使い方を誤ると凶器になりうる、被害者でなく加害者になりうることもふまえて、自分の運転はもちろん、子ども達にも注意したいと思います。最後になりますが、被害者ご家族の皆様が天国の大切な方とともにどうかこの先も大切な命を生かぬいていってくださることをお祈り致します。(40歳代 女性)

・等身大パネルはすごく良いと思います。  
・プライベートな部分を大きく占める事柄なのでなかなか難しいと思いますがもっと生々しくてもいいかなと思います。(50歳代 女性)

ニュースなどで名前や年齢を聞くことはあっても“知らない人”という感覚でしたが、パネルでその人達の生い立ちや身長を知り、“その時に履いていた靴”を見ることで“現実に生きて生活していた人”だったのだということが実感できました。本当にこのような事件や事故はなくなってほしいと強く思います。ありがとうございました。(40歳代 女性)

新聞やニュースなどで犯罪被害、事故被害の報道を目にする度に心が痛み、加害者への憤りを感じながらもどこか自分の周りでは起こり得ないという根拠のない考えを持ってしまいますが、全くそんなことはなく自分や自分の家族が被害者になるかわかりません。また、私も車を運転しますので加害者にならないとも限りません。今回の展示では飲酒による事故が多くありましたが、飲酒運転は運転者が自ら避けることができるものです。最近も飲酒事故のニュースを見かけますが「飲んだら乗らない」というあたり前のことを守れない人がいることが残念でなりません。日本の法律は加害者に甘いという感がぬぐえないのも正直な気持ちです。ニュース報道があっても当事者でなければいつか風化されてしまうものだと思います。新たな事故を起こさないためにも、新たな犯罪被害者が出ないためにもこのような展示会を続けていただきたいと思います。ありがとうございました。(50歳代 男性)

子どもを持つ母として、パネルを見ながら、目頭が熱くなりました。飲酒運転、不注意運転など、多分大丈夫とってしまう甘えが、不幸を招きます。皆さまの活動(学校やイベント等での)を通じて、ひとりでも多くの方が考えを変え、たくさんの犯罪被害者が救われればと思います。(40歳代 女性)

こんなにたくさん悲しみを抱えた人がいるとは思わなかった。これからも色々なところで広めていくべきだと思う。(50歳代 女性)

最近は飲酒運転や暴走運転だけでなく高齢者の運転に非常に危険を感じる。自分自身が中年の域に入り、目が悪くなったり、判断力も少し落ちているのではないかと考える中で、より高齢になってからの運転はどのような状態であるのだろうかと思うところがある。車の運転はより注意していかなければと改めて感じた。(40歳代 男性)

去年と同じく色々な事で亡くなられている方がいることを改めて知ることができた。(30歳代 男性)

生きたい人を殺すのは、たとえ悪気がなくても死をもって償うべき。生きたい人を殺した人に未来は不要。(10歳代 女性)

国、地方自治体は口だけの美句ではなく、積極的に支援すべき。(70歳代 男性)

ここにも車できました。気を引き締めて運転します。(50歳代 女性)

いつも車を当たり前のように運転していますが、ちょっとした“これくらいいいだろう”で1人の人の未来を奪ってしまうんだな…と痛感しました。1人の人の未来とその御家族の明るい、幸せな時間を奪うことになるかもしれないと、特に気をつけて運転したいです。あと、子ども達が元気で生きていることのありがたさを今一度感じました。生命の大事さを感じさせてくれてありがとうございます。(30歳代 女性)

祖父・母の祖母のお葬式で、故人様の苦しみや悲しみなどの気持ちが分かり、その日から、今日まで頭から今でもはなれないほど、悲しかった思い出だったので、来ました。(10歳未満 男性)

遺族の思いが、とてもよく伝わってきた。その人の生きていた証が、靴などを通して伝わってきた。大切な人を亡くした遺族のくやしさを胸に、人を大切にしたい。(30歳代 女性)

色々な人がルールを守っているのに守っていない人に傷つけられてかわいそうだと思う。(10歳代 男性)

普段、こういったことを体験することは、まずできないと思うので、もっとこんなイベントが広まれば良いなと思いました。(20歳代 男性)

子どもが小さく同年代の子のパネルを見たくて来た。(20歳代 女性)

犯罪被害がゼロを目指して欲しい。いじめ、飲酒運転etc. 自分も含め啓発に取り組んで行きたいと思います。生きていることは奇跡だと思います。限りある命、今を生きて行きます。本日は貴重なパネル展に参加させていただきありがとうございました！！(50歳代 男性)

平凡だが、しかし幸せな日常が、ある日突然断ち切られてしまう理不尽さ…。決して他人事ではありません。でも私達はどこか他人事「自分だけは違う、そんな目にはあわない」と思っています…。知り合いや身内にふりかかってこなければ、「かわいそうに」と思うだけ…。このパネル展で亡くなられた人達、それぞれに人生があり、それはこれからも続くはずだったのに…と心に深くつきささってきました。今まで本当に…すみませんでした…。もっと私達みんながこのことを考えて行動しないとイケないですね。(50歳代 女性)

私自身10代ということもあり“死”というものに現実性がない。ですがこのようなパネル展のおかげで命の大切さ、忘れてはいけない被害者を考えることができた。(10歳代 男性)

子どもが最近免許を取ったので気をつけて運転するよう家に帰ったら話そうと思う。(50歳代 男性)

被害者家族の心のよりどころが、読んでいてつらい。なぜ、この様につらいことが多いのか？(70歳代 女性)

一人ひとりの人生を一人の人間によって生命がおびやかされる。一人(被害者)の生きる権利よりも加害者の権利の方が軽すぎるのに不公平が生じ軽みられ過ぎである。もっとしっかり議論(法の見直し)する必要がある。メッセージ展をもっと多くの人に見てもらいたい。その為に身近なところ(場所)を考えていきたい。中学、高校、大学等にも出前授業をしていきたい。(70歳代 女性)

亡くなられた方の写真と遺品を見て涙が出た。ご家族の手紙を読むと胸がはりさけそうで涙が止まらない。私も車を運転するので、より一層注意をしなければと思った。(40歳代 女性)

生命の大切さ、そして加害者の勝手さ処罰の軽さを感じました。(50歳代 男性)

最近はSNSやブログ等で犯罪被害者の遺族や関係者の声を目にする機会も増えてきましたが、新聞やテレビ、ラジオの報道ではまだまだ事件の概要しかなかなか知ることができないので、とても関心深く拝見させていただきました。(50歳代 男性)

自分がいつ被害者になるか分からない、いつ加害者になるかも分からないということを再認識しました。自分が被害者にならぬよう、加害者にならぬよう、周りに目を配らせようと思います。(20歳代 女性)

被害者、加害者をこれ以上増やさないように 自分たちの家族、子どもたちに伝えていきたい。(40歳代 女性)

突然家族を奪われた気持ちは想像もできない辛さだと思いました。遺族の方が立ち直れる支援は大事だと思いました。(30歳代 女性)

同じ年の人もいたので、今生きていてうれしいと改めて思えました。(10歳代 女性)

実際に犯罪被害者の声を聞く機会は普段ないので、想いを知ることができて良かったです。これから、より多くの方が支援しやすい環境ができればいいなと思います。(10歳代 女性)

初めて、パネル展に参加させて頂きました。多くの犯罪のよって大切な命が失われてしまったことを知り、改めて生きることの尊さ、大切さを実感しました。このようなパネル展があれば絶対に参加したいと思います。(10歳代 女性)

交通事故の原因が飲酒運転というのがとても許されません。飲酒さえていなければ防げた事故も多かったはず。(40歳代 男性)

私は高校生です。色んな人が亡くなってしまったのを見ました。私より幼くて、可愛いらしい子が事故で亡くなっていたり、夢や希望のある同い年の子が亡くなっていたり、色々考えたら涙が止まらなかったです。早く事故なんてなくなってしまう方がいいのに、と強く思いました。(10歳代 女性)

とても胸に響いた。(40歳代 女性)

人は誰しも、被害者、加害者になる可能性があります。常に責任をもって行動する大切さを感じました。またひとりでも多くの人が意識をもってくれたら被害者、加害者になることが防げるのではないのでしょうか。(40歳代 女性)

堺市が行政としても熱心に取り組んでいることはとても評価できます。周知はより必要ですが、今後は更に具体的な救済の取組が必要ではないかと思います。性犯罪が取り調べ段階で軽視されたり、ないものにされること。被害者の精神的な支援、生活の支援はまだ不十分です。(40歳代 男性)

改めて車の運転には細心の注意をもつことを強く感じました。(50歳代 男性)

被害にあわれた方一人ひとりの人生、いのちに思いをはせることができました。大切な人のいのちが、突然目の前でブチンと切られてしまう。想像しただけで涙が溢れます。人のいのちも自分のいのちも大切にと感じました。(50歳代 女性)

涙が出てじっくり読むことが難しかった。家族に愛されていることがとてもよく分かった。若い方が多くて悲しみが増します。(40歳代 女性)

普段、テレビや新聞で見聞している事件や事故。その概要を知ることはいくらでも、残された人たちの声を聞く機会はあまりなかったので、今回このパネル展に参加して、それを知ることができて本当によかった。改めて、命の重さとその尊さについて考えさせられる、とても勉強になるパネル展でした。この先、自分も被害者にも加害者にもなる可能性があることをしっかりと胸に刻みながら、生活していきたいと思います。(20歳代 男性)

考えさせられますね… (20歳代 男性)

事故にあった方々の無念な思いが伝わってきました。被害にあった方々が、さらに辛い思いをしなければならないこの国は何なんだろうと思いました。私も車を運転していて危なかったことがあります。気を付けようと思いました。(40歳代 女性)

被害者家族の生の声を知る機会は多くなく、衝撃的でした。(30歳代 女性)

罪のない被害者が亡くなることは非常に理不尽だと感じます。できればこういったケースがゼロになることを祈るばかりです。(40歳代 男性)

メッセージと遺品に心打たれました。はずかしいけど泣きました。入って良かったです。(50歳代 女性)

やはり、あまりに許せない理由で命が奪われることは絶対にあってはならないと改めて思った。あたり前のことだが、展示されている内容はある程度昔の話なのに、今現在でも同じような許されない行為が繰り返されているという点に注目しなければならない。やはり更生という点に重きが置かれすぎではないか、と考える。「罪を憎んで人を憎まず」ですませて良いのだろうか？ (30歳代 男性)

展示の方法がよくできていたと思います。全く未知の人ながら、その死がどんな生を奪ったか伝わってきました。生々しい映像よりむしろ伝わってきました。(60歳代 女性)

決して他人事ではなく、誰もが加害者、被害者になる可能性があり、それを自覚することが犯罪抑止につながると思います。少しの注意や相手の立場に立った行動で防げる死ばかりだと思った。我が子にも命の大切さを伝えたいと思いました。1人でも多くの人にこのイベントに参加してもらい、命の大切さ、自分を律する気持ちが広がればいいと思います。(40歳代 女性)

具体的なエピソードを見ると、すごくインパクトがありました。新聞やTVのニュースだと通りすぎてしまうけど、一人一人に家族がいてその人たちの思いがあるというあたり前のことに気が付きました。特に飲酒運転は、この展示を見れば減るのではないかと思います。(20歳代 女性)

ハンドルを握る手に責任を。深く自覚したい。(40歳代 女性)

みんなが焦らず注意してほしいです。(60歳代 女性)

被害者家族になった事を考えると胸が締めつけられる思いでした。特に子どもがおられますので、子どもの死については想像できません。事件や事故が1件でも少くなることを願っております。(30歳代 女性)

日常、生活している中で、ニュース、新聞を目にする事は多いです。改めて、実感すること、残された家族のことを思い、考え、深く気を付けて日常を送る事こと、改めて考え思うことができました。ありがとうございました。(40歳代 女性)

親として、最後まで、読むことが出来ませんでした。全ての人々が、命や、個への気持ちをもっと温かいものにすれば、起こらないことのような気がします。(40歳代 女性)

亡くなった方の靴が置かれているのがとても生々しく感じられました。特に幼い子どもさんの靴は、これからもっと大きいものになっていったはずなのに、もっと生きたかったらと思うと胸がつぶれそうです。(60歳代 女性)

何も罪もない方達が加害者のくだらない理由で暴行を受け亡くなってしまふ事件が毎年の様がありますが、少年法で被害者より加害者が守られている感じがします。少年法の改政が必要だと思っていました。(40歳代 女性)

加害者側には被害者、家族の気持ちが伝わらないのかと感じた。自分が被害者側に立った時、加害者に文句を言わないなんてことはないと思う。大切な人が居なくなるのは事故であってほしくない。(30歳代 女性)

他人事ではない問題と考えます。(60歳代 男性)

改めて交通事故・飲酒の恐ろしさを知り、自分の子どもがそうになったら、自分自身がしてしまったらのことを考えています。(40歳代 男性)